

## 忍耐の花は、全ての庭に 咲くわけではない

高山 久美さん

会社名：障害者就労支援施設

役 職：職業指導員

資 格：産業カウンセラー



### 【受講のきっかけ】

数年前に会社を退職し、自分の時間が持てるようになった頃、「産業カウンセラー」の資格を知りました。それまで私は、製造現場で大きな機械から製品を作り出したり、マニュアルの作成などを行ったりして、仕事はとても充実していました。ところが突然、一緒に働いていた同僚が何も言わずに出勤しなくなってしまいました。

2名体制で機械を稼働させていましたが、一人で納期に対応しなければならないことに焦りと憤りを感じながら業務を行っていました。しかし、効率や品質、生産性などを考える中で、人への思いやりが足りなかった自分に、同僚が出勤しなくなった原因があったのではないかと思うようになりました。

身体も心も少し休めようと思っていた時に「産業カウンセラー養成講座」を受講することにしました。講座では10名の受講者と共に学ぶことになり、自分にとっては初めての経験ばかりで、尻込みしそうになることもありましたが、自分と向き合うことに緊張しながらも、心を開いてサポートしてくれる仲間恵まれ、少しずつ自信がつき、前向きな考え方や受け止め方ができるようになりました。講座には、本当に貴重な時間と出会いがありました。

### 【資格取得後の活動状況】

産業カウンセラーの資格を活かせる職場を探していましたが、障がいのある方々への支援という形で関わることでできる障害者就労支援施設で勤務することになりました。職場は研修などに参加しやすい環境で、会社の

協力も得られたことで、現在は社会福祉主事の資格取得を目指しています。

産業カウンセラー協会での研修についても、土曜日や日曜日の開催など、参加しやすいと感じています。また、様々な職種の方々とコミュニケーションをとることができるので、興味のある講座を積極的に受講するようにしています。

日々利用者の方々と関わっていると様々なことに直面しますが、その中では学ぶことが多く、産業カウンセラー養成講座で学んだ「受容、共感的理解、自己一致」といった基本的態度が必要になる場面も多くあります。自分自身にある準拠枠に注意して対応していくことの難しさも感じていますが、常に意識するように心がけています。

私のモットーである「改善は無限なり」に従い、働きやすい職場環境作りを心掛けるとともに、一人一人の個性に応じた適切な支援を行い、切磋琢磨しながら共に成長していきたいと思っています。また、自分の気持ちが挫けそうな時に、上司から「成らぬ堪忍するが堪忍」と声をかけていただきました。それは我慢できないことを堪えるのが本当の忍耐であり、許せないことを許すことも大切だと受け止め、胸に留めています。一方で、耐え続けることが必ずしも良いことではなく、悩みを抱えた人のサインに気づき、サポートできるようになりたいと思っています。

これまで自分が学んできたことを踏まえて、耳と心を傾け、相手の心の声を聴き、今できることを大切にしながら、歩んでいきたいです。